

講義名	論文作成方法論研究		
科目区分	方法論研究		
担当教員	東 利一		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
	2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2015年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース)		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	22501

主題と概要

本講義では修士論文の作成を視野に入れて、問題意識から研究テーマの選定、文献レビュー、調査計画の策定、仮説のたて方、論拠のたて方、結論の導き方の指導を行う。研究方法論としてフィールドワークや事例研究の手法についても取り上げる。毎回の授業計画に沿って、受講者が交代で各自の研究テーマをベースにプレゼンテーションを行う。他社の報告についても質問やコメント、議論に積極的に参加することを望む。

到達目標

修士論文作成の基盤づくりを通して、その進捗をもとに論文構成、論理展開など論文としての精緻化を目指す。

提出課題

毎回小テストを行う。最後に小論文を作成・提出する。

評価の基準

毎回の出席・発言(15%)、毎回の小テスト(35%)、小論文(50%)の3つにより総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

毎回復習という形で小テストを行うために、講義内容をしっかりと理解しておくことを進める。

教科書

プリント資料及び参考文献

池上 彰(2002)、『相手に「伝わる」話し方』講談社現代新書
石原武政(2007)、『「論理的」思考のすすめ』有斐閣
伊丹敬之(2001)、『創造的論文の書き方』有斐閣
今田高俊(2006)、『リアリティの捉え方』有斐閣
刈谷剛彦(1996)、『知的複眼思考法』講談社
齋藤 孝(2002)、『読書力』岩波新書
佐藤郁哉(2008)、『暴走族のエスノグラフィー』新曜社

授業計画

- 1 修士論文について
- 2 良いテーマとは何か
- 3 事例をもとにした具体的考察
- 4 事例分析
- 5 事例研究レポートの書き方
- 6 注釈のつけ方・参考文献の書き方
- 7 テーマ・問題意識(1)
- 8 テーマ・問題意識(2)
- 9 論文の構成・先行研究・引用(1)
- 10 論文の構成・先行研究・引用(2)
- 11 仮説のたて方・論拠のたて方(1)
- 12 仮説のたて方・論拠のたて方(2)
- 13 文献レビューと議論(1)
- 14 文献レビューと議論(2)
- 15 文献レビューと議論(3)

予習・復習

配付するプリントを事前に読んでくる。
毎回の小テストに向けて講義内容を勉強しておく。

備考

特にない。